

『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成19年8月24日	
		作成部署	土木建築部道路総括室	
事業名	都市高速鉄道 JR山陰本線等 連続立体交差事業	構想番号	構-19-1	
		地区名	福知山市字堀～篠尾新町	
概算事業費	約315億円(鉄道負担金含む)	事業期間	平成4年度～平成21年度	
事業概要	鉄道高架延長:6,100m、側道・交差道路整備延長:1,000m、踏切除去:9箇所			
関連する公共事業	福知山駅周辺土地区画整理事業 面積:17.8ha 福知山駅南土地区画整理事業 面積:62.5ha			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点				
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等) 地形・地質 物質循環(土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など	・踏切による自動車の停車や交通渋滞により、自動車の走行速度が低下し、CO ₂ 排出増加の一因となっていることから、改善を図る必要がある。	・鉄道高架による踏切の除却で自動車の減速、停車、発進回数を減らすことになり、CO ₂ 総排出量の削減に寄与する。	△
生活環境	水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など	・鉄道の高架化と同時に側道や交差道路の工事に伴い、発生する建設副産物について、リサイクル及び再資源化に努める必要がある。 ・計画線路の一部は人家連担地を通過するため、騒音等沿線に与える影響を抑制する必要がある。	・建設発生土のリサイクル及びアスファルト、コンクリート殻の再資源化に努める。 ・鉄道高架と併せ、線路のロングレール化、弾性マクラギ直結軌道の採用により、列車の走行によって発生する騒音・振動を減少させる。	○
地域個性・文化環境	景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行事 地域住民との協働 など	・駅舎が市の中心的存在となることから、外観等の景観に対する配慮する必要がある。	・新しい駅舎のデザインについては、福知山らしさを出すよう、駅舎の上部は福知山の夏の風物詩でもある福知山踊りの笠、下部は福知山城の白壁や木壁をイメージした外観で整備した。	△
地域の環境像	福知山市は、北近畿における拠点都市であり、交通の要所として発展し続けている。福知山駅周辺は、JR線、国道9号等を交通の中心とする商業地域であり、騒音、振動、交通安全及び街並み景観を含めた都市環境の維持向上を図る必要がある。			
特記事項	なし			